



住める くらせる 東京に

日本共産党
前区議会議員

せいの恵子 都政レポート

No.006 2025年2月号

発行・日本共産党・せいの恵子事務所

〒115-0042 北区志茂2-53-7

☎5939-6581 FAX5939-6582

都民の願い 実現する都政に



1/23

地域のみなさんから寄せられている切実な要望の数々。1月は年明け早々、日本共産党都議団とともに、その実現を国や東京都に要請してきました。

誰もが安心の介護制度を

介護保険制度の改善を厚労省へ要請。とても厳しい現場の現状を訴え、介護保険の公費を50%から60%に引き上げることを強く求めました。

住まいは人権!

家賃補助、都営住宅などの大量建設、UR家賃引き下げなど住宅問題について国交省へ要望。公営住宅の新規建設や、さまざまな事情で住宅を変更せざるを得ない人への迅速な対応を求めました。

受験生ねらう痴漢許すな

受験生をねらった痴漢の加害防止と被害救済の強化を国と警察庁に申し入れ。被害リスクが高い10代など若年層を痴漢から守る対象と明確に位置づけるよう求めました。



1/14



1/15



音楽街宣
@赤羽東口

女性が安心の社会へ

声あげる人の連帯を



1月25日、青年が企画した「自分のためのフェミニズム」集会に米倉春奈都議と参加。私は区議として女性の経済的困難に耳を傾け、学校での包括的性教育の推進を求めてきたことを紹介、「性の悩みや学びに当たり前前にアクセスできる社会へ一緒に変えていきたい」と訴えました。

せいの恵子の
自転車に乗って

1月25日に赤羽駅東口で行われた音楽街宣。バンドの力強い演奏と、熱い言葉の数々。「賃金上がってま
すか。給与明細見て嫌になる」「問題は自民党政治。みんなを変えよう」――若者のストレートな言葉が、ギターにドラム、シンセサイザーの音に乗って、駅前広場に響きわたる。
一人ひとりから発せられる言葉は、誰

赤羽駅前に響き渡る熱い演奏と言葉たち

「音楽伝の最後にも私、「光が当たらない課題にこそ、みなさんの思いが詰まっている。都政にその思いを届けたい！」そう呼びかけた。
力強くしなやかに、みんなの声と行動で政治を変えていこう。私たちはひとりじゃない。「力を合わせて、せいでチェンジ!」

1月25日に赤羽駅東口で行われた音楽街宣。バンドの力強い演奏と、熱い言葉の数々。「賃金上がってま
すか。給与明細見て嫌になる」「問題は自民党政治。みんなを変えよう」――若者のストレートな言葉が、ギターにドラム、シンセサイザーの音に乗って、駅前広場に響きわたる。
一人ひとりから発せられる言葉は、誰

X(旧ツイッター)、Instagram、YouTube、TikTokなどで、随時、情報を発信中。せいの恵子公式LINEにも、ぜひ登録をお願いします。



LINE友だち追加

QRコードを読み込むと
LINEアプリから友だちに追加できます

